ブレキエーション Sサイズ #KB200

取り扱い説明書

この度は「ブレキエーション」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本商品は、 グレン・ドーマンの長年の研究成果をもとに、キシ・エンジニアリング㈱が商品開発を行いました。 安全性に配慮した材料を選定し使用しておりますので、小さなお子様に対応した環境を提供す ることができます。ご使用の前に、この取り扱い説明書をよくお読みください。また、読み終わっ た後は、必ず保管しておいてください。

> ブレキエーション (brachiation) という語はラテン語で「腕」を意味する brachia からきています。 ブレキエーションとは:「何かを手で握ってぶら下が り、スウィングして次のものを握るということを繰り返しながら前進すること」

> 人間能力開発研究所は長年にわたって、小さな子供たちがブレキエーショ ンを行うことを推薦しています。

1968年に、子供にブレキエーションを教える方法をご両親に教えることを 始めましたが、以来、年を追うごとに、ブレキエーションへの熱意はどんど ん強くなっていきました。

子供たちの神経学的な機能や運動能力が向上し、呼吸器系が発達したこ とで、私たちはブレキエーションの優れた効果を実感したのです。子供の成 功を喜ぶお母さんたちの笑顔が、私たちに力を与えてくれました。

> 人間能力開発研究所副所長 ダグラス・ドーマン

Douglas Doman

The Institutes for the Achievement of Human Potential

人間能力開発研究所の理念

この世に生まれた子どもはすべて、誕生の瞬間から、レオナルド・ ダ・ヴィンチが一生の間に使ったよりも大きな知的可能性を持って いる。私たちは、迷うことなくこう確信している。生まれながらに持っ ている知的可能性には、運動能力も含まれる。というより、そこ から始まるというべきだろう。



製造元: 【 キシ・エンジニアリング株式会社

目 次

ご 注 意2
ブレキエーション付属品リスト3
組立て順4
ブレキエーションの効用5
使い方について ステップ 1. はしごの高さの決め方6
ステップ2.自分でブレキエーション・・・・・・・・7
ステップ3.一人でブレキエーションできるようになったら・・8
補助について9
保証規定・品質保証書10

▲警告

- ・本商品は遊具ではありません。お子様の身体的機能向上を目的としたトレーニングを 行う為の商品です。必ず保護者の責任のもとで指導・監視を行って使用してください。
- ・梯子やパイプの上を歩いたり横から登ったりしないでください。落下や体が挟まる 事故につながり大変危険です。
- お子様が一人で本商品に近づかないように十分注意してください。

上記の警告を守り、監視者の責任のもとに使用してください。

▲ご注意

この商品は約1才~約6才の幼児用の室内運動用具(家庭向け一人用うんてい)です。 大人の方はお子様への使用方法の説明以外には使用しないでください。大人の方が見 本を見せるのに使用される場合は、床面に足をつけてお願いします。(体重50kg 以上 の方は使用しないでください。)

※ 握り棒の耐荷重100kgですが、反動をつけて使用されると体重の約2~3倍以上の荷重が加わることがあります。大人の方が使用される場合には、異常音・たわみ過ぎに十分注意してください。
※ 屋外での設置、使用はしないでください。

1. ご使用前に

- ●使用状況によって、また組立⇔分解の繰り返しによる、ボルト部分のゆるみ、異常がないか、使用前に必ず点検を行ってください。
- ●特に「ハシゴ」を移動した場合は、入念に点検を行ってください。

2. 本体について

- ●室内の段差のない水平で安定した場所に設置してください。
- ●安全には十分注意しておりますが、組立、設置されたプレキューション本体に、お子様が誤ってぶつかったり、引っ掛かって転倒されると大変危険です。お子様の背の届く範囲にクッション材などを脚部や「ハシゴ」に巻きつけてご利用下さい。
- ●ハンガーなどを掛けたり、「ハシゴ」の上に物を置くなど収納補助具などに使用しないでください。
- ●脚部の「ハシゴ」の取り付けに使用されないすべての穴に、付属のポリキャップを押し込んでください。
- ※ お子様が穴に指を入れて、ケガをされないようにご注意ください。

3. 「ハシゴ」の取り付けについて

- ●「ハシゴ」を取り付けるための赤ノブは外れないよう、手で十分に締めてください。(もう1ヶの赤ノブはあらかじめシャフトに接着してあります。)
- ●使用状況によって、また組立⇔分解の繰り返しによる、ゆるみなど各部に異常がないか、使用前には必ず点検を行ってください。

4. 握り棒について

- ●握り棒の耐荷重は約100kg(直径25mm)ですが、反動をつけて使用されると体重の2~3倍以上の荷重が加わることがあります。体重50kg以上の方は使用しないでください。
- ●握り棒の表面は平滑に加工していますが、自然木であるため表面にトゲのある場合があります。使用前に十分に注意してください。
- ●握り棒は木製ですので、長時間使用しますと摩耗することがあります。その場合は、「ハシゴ」の交換をおすすめします。 販売店に注文してください。(有償)

5. 使用上の注意

- ●使用中に著しいたわみ、きしみなどによる異常音がする場合は使用を中止してください。
- ●フローリング床面で使用する場合、移動する時など床が傷つかないようにご注意ください。

ブレキエーション付属品リスト

横パイプ	2本	(C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-C-
縦パイプ	4本	(g~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~
ハシゴ	1本	
ベース	2ヶ	
ジョイント	2ヶ	
シャフト(ノブ付き)	2本	
赤ノブ	2 ታ	
ボルト	50 ケ *1	
ワッシャー	50 ケ *1	
ポリキャップ	90 ケ *2	
六角レンチ	1ヶ	

^{*1.}スペア 2ヶ

その他

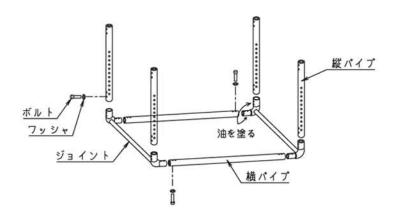
・取り扱い説明書(保証書付)

1 册

^{*2.} スペア 10 ヶ

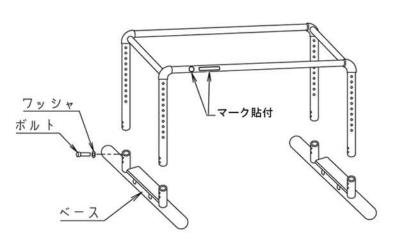
組立て順

1. 下図のように縦・横パイプをジョイントにはめ 込んでください。 はめ込み部に油を塗ると楽で す。(出荷時パイプ内にあらかじめグリースがス プレー塗布してあります)



2. 次にボルト(ワッシャーをいれ)を32本ねじ 込んで下さい。(まだ締め付けないで!)

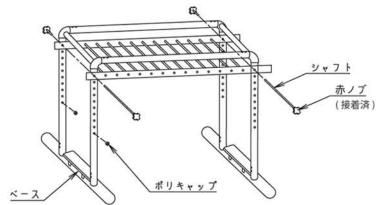
3. 下図のように仮組付したフレームをひっくり返してベースにはめ込みます。ゆっくり下ろしていくと自重で入ります。ネジ穴が合う所で止めて、ボルトを16本ねじ込んで下さい。



4. 脚立を持ってきて全部のネジをしっかり締め付けて下さい。

5. ハシゴをセットします。

図のようにシャフトを通してから、シャフトの先端に赤ノブをねじ込み、しっかり固定して下さい。



6. 柱の使っていない穴にポリキャップを入れて 下さい。

注意

穴に指を入れると、ケガをする恐れがあります。

ブレキエーションの効用

⋂ 脳が機能するための 酸素の供給量増加を サポート

> プレキエーションによるもっとも重要な成 果は、胸囲の成長です。「はしご」にぶら下がっ た子供が独りで「はしご」の握り棒から次の握 り棒へとスウィングしながら渡っていくとき、 子供の肩は全体重を支えています。これによっ て胸郭がしっかりと伸びて開くのです。さらに 胸と肩の筋肉が成長し、発達を促します。

手の機能向上をサポートする

皮質協応の発達

胸囲、層、背中の

筋肉の発達促進

胸郭の広がり

プレキエーションをする時は、全体重は手と指にか かっています。これは手と腕の力をしっかりとコント ロールしなければできないことです。これは特に、楽 器を演奏し、絵や字を書くこと、その他複雑な手の使 い方ができるようになるための基礎作りなのです。

手の機能とコントロール 6力の発達促進

目は握り棒に

視覚の収束能力向上 をサポートする

> 次の握り棒をつかむためには、視覚の収 束がなければなりません。

■視覚の収束とは、

ふたつの目の焦点を一点に合わせて 見る能力です。見るものまでの距離が 近ければ近いほど、視覚の収束をコン トロールすることが難しくなります。 赤ちゃんのための読みの単語を大きな 文字で書いて、腕を伸ばした距離で見 せるのは、このためです。

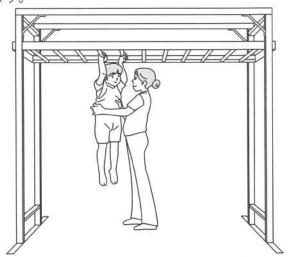
ブレキエーションはその視覚の収束 能力に働きかけます。ブレキエーショ ンをするときは、スウィングして次に つかむべき握り棒に視覚を収束させな ければなりません。それができないと 大変!棒をつかみそこないます。握り棒 は、腕を伸ばした距離にあります。こ うして握り棒に向かって腕を伸ばすた めに、視覚の収束が強化されていきます。

下に引っ張られる重力によって身体がまっすぐ

ステップ 「はしご」の高さの決め方

(保護者の背丈に合わせた場合)

「はしご」を保護者の頭より3~4m高くする。最初は、 保護者の補助が必要ですのでこの高さをおすすめし ます。

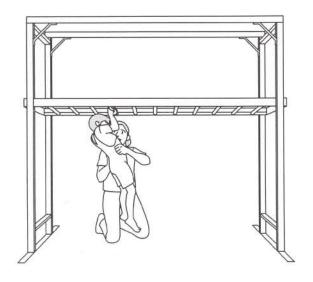


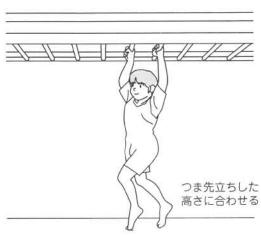
ブレキエーションをするときの服装

お子様が保護者の助けを借りながらブ レキエーションをしているあいだは、つな ぎ型の衣服(オーバーオールなど)を着せ てください。しかし、いったん自力ででき るようになったら、着やすく動きやすいも のなら服装はなんでもかまいません。

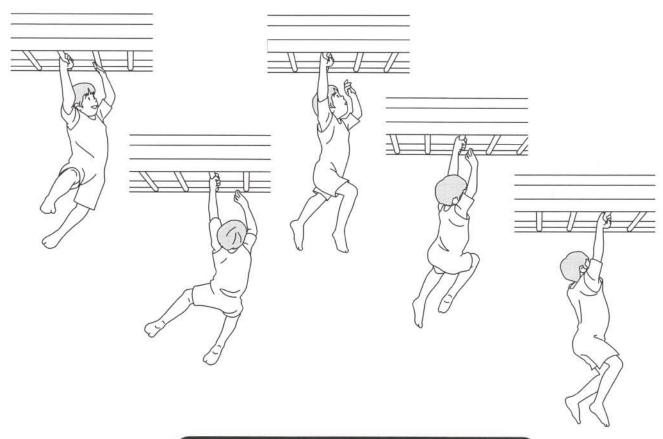
お子様の背丈に合わせた場合

お子様が高さ7~8㎝の台に乗って、「はしご」の握り棒 を握れるような高さにする。ただし、保護者にとっては 補助のしにくい高さになるため、ご注意ください。





自力でブレキエーション

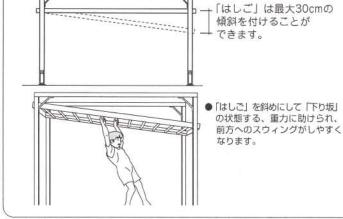


自力でブレキエーションするためのサポートの提案

目標としては、お子様が一人でできるようになることです。その場合、「はしご」は保護者の身長に合わせた高 さにしておきます。習得のスピードが遅い時は、下図のような方法でのトレーニングをおすすめします。

①「はしご」に角度をつけてあげる。

②お子様のつま先立ちした高さに合わせる





届くぐらいにし、つま先立ちで ブレキエーションをする。

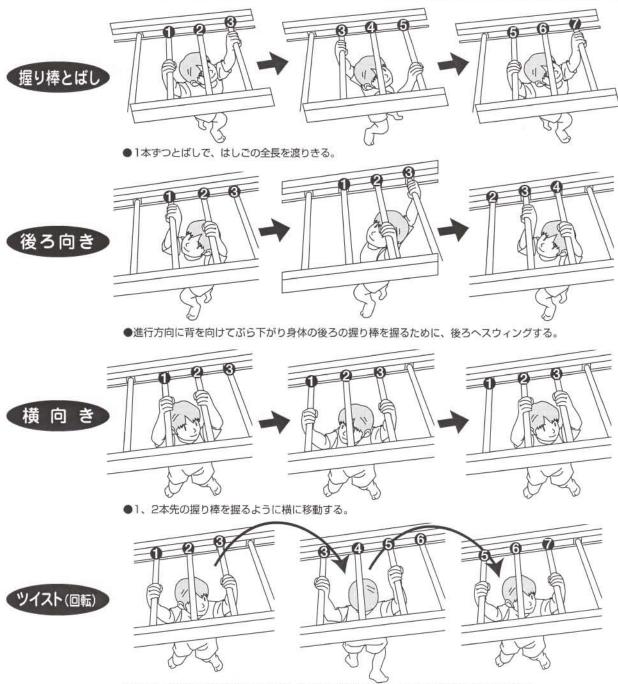
ステップ

一人でブレキエーションできるようになったら

3.

「はしご」を保護者の背丈に合わせた高さにしておき、ほぼひとりでできるようになったら、「はしご」をお子様の背丈(6ページを参照してください。)に変え、完全に自力でできる段階まで、自信をもってのりきれるようにします。

自力でブレキエーションができるようになった子どもには、意欲満々で楽しめるように、 少し変化をつけてみましょう。



●まず、手のひらが向かい合わせにし2本の握り棒を握る。ここから身体を半回転させる、 手のひらが外を向く形になる、次に半回転と回転をしながら、手のひらが向かい合わせ、 外向き、という形で握ってはしごを渡る。

補助について

補助するというのは、動きがうまくいくように、直接お子様の身体に触れて手伝うと同時に、落下した り怪我をしたりするのを防ぐことを言います。









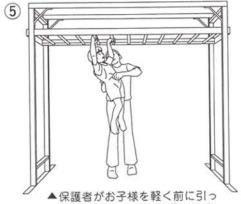
◆補助のしかた

お子様に最初にブレキエーション「はしご」をさせるときから自力でできる ようになるまでは、必ず補助をしてください。

「はしご」の高さは、補助する人の身長に合わせて、頭より3~4cm高くな るように調整してください。「はしご」の高さが合っていないと補助する人にとっ て難しくなりますので、ご注意ください。

お子様が自力でブレキエーションができるようになったら、補助をする必要 はなくなります。そのときは、握り棒にぶら下がっているお子様のつま先が床 から5cmぐらい浮くように「はしご」の高さを調整してください。その調整位 置よりも「はしご」を高く設置される場合は、お子様の年齢や、ブレキエーショ ンを自力でできる度合いにかかわらず、必ず補助をしてください。





張って、次のサイクルに入ります。

保証 規定

- 1. 保証期間内に、取扱説明書等に従った正常な御使用状態で故障した場合には無料修理いたします。
- 2. 保証期間はお買い上げ後1年間です。
- 3. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、衝突、接触による故障及び損傷
 - (八) 天災、地変等による故障及び損傷
 - (二) 消耗部品
 - (木) 保証書にお買い上げ店名の記載、捺印の無い場合
 - (へ) 保証書のご提示が無い場合
- 4. 以上の保証は日本国内に本製品を設置した場合に限ります。
- 5. この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 6. 保証期間中、万一故障が生じた場合はお買い上げの販売店へ保証書を添えてお申し出下さい。
- 7. この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

品質保証書

- ・ 本商品については上面記載の「保証規定」により、保証期間中に正常な使用状態において 故障が発生した場合には、無償にて修理いたします。
- ・ 本書をご提示の上、お買い上げの販売元に修理をご依頼ください。

	THE COMMENSATION OF THE PROPERTY AND	The second second second second	ersoner and temperature is	COMPOSITION SEE CO. C.	THE PROPERTY OF STREET	PHILE I SALES - SALES - SALES	100/11	
機	種							
お買い上げ日		令和	年		保証有効	令和	年	
			月	₿	年月日		月	8
お客様	ご住所	₹						
137	ご氏名							
製	造元	キシ・エンジニアリング株式会社 〒693-0064 島根県出雲市里方町893-5 TEL 0853(23)6383 FAX 0853(23)7367 ホームページ: http://www.kishieng.co.jp e-mail: kishieng@m1.izumo.ne.jp						